

三菱HCキャピタルとグーフが デジタル印刷プラットフォームの構築に向けた実証実験を開始 印刷のDX・SXを推進し、最適な印刷エコシステムの構築に貢献

三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員:久井 大樹/以下、三菱HCキャピタル)と株式会社グーフ(CEO:岡本 幸憲/以下、グーフ)は、印刷のDX・SX推進を目的としたデジタル印刷プラットフォームと、適地生産インフラの構築に向けた実証実験を2024年12月に開始しており、このたび、実験の拠点となる印刷拠点 goof.CAMPUS(以下、CAMPUS)の開所式を行いました。



goof.CAMPUS



実証実験で使用するデジタル印刷機

「Canon varioPRINT iX3200」

■本取り組みの背景

デジタル化の推進とサステナビリティへの意識が高まるなか、印刷物の価値や目的にも変化が求められており、印刷産業は、従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型モデルから脱却し、新しいモデルへの転換が求められています。ハードウェアのデジタル化や一部印刷会社がオンデマンド印刷を実施しているものの、現在でもアナログ印刷が主流であり、大ロット発注や局所集中印刷モデルが多く採用されています。印刷物が「必要な時」に「必要な場所」で「必要な量」製造され、最適なタイミングで無駄なく「必要な人」に供給できる仕組みを構築することで、ユーザーの多様なニーズに対応可能なサービスが求められています。

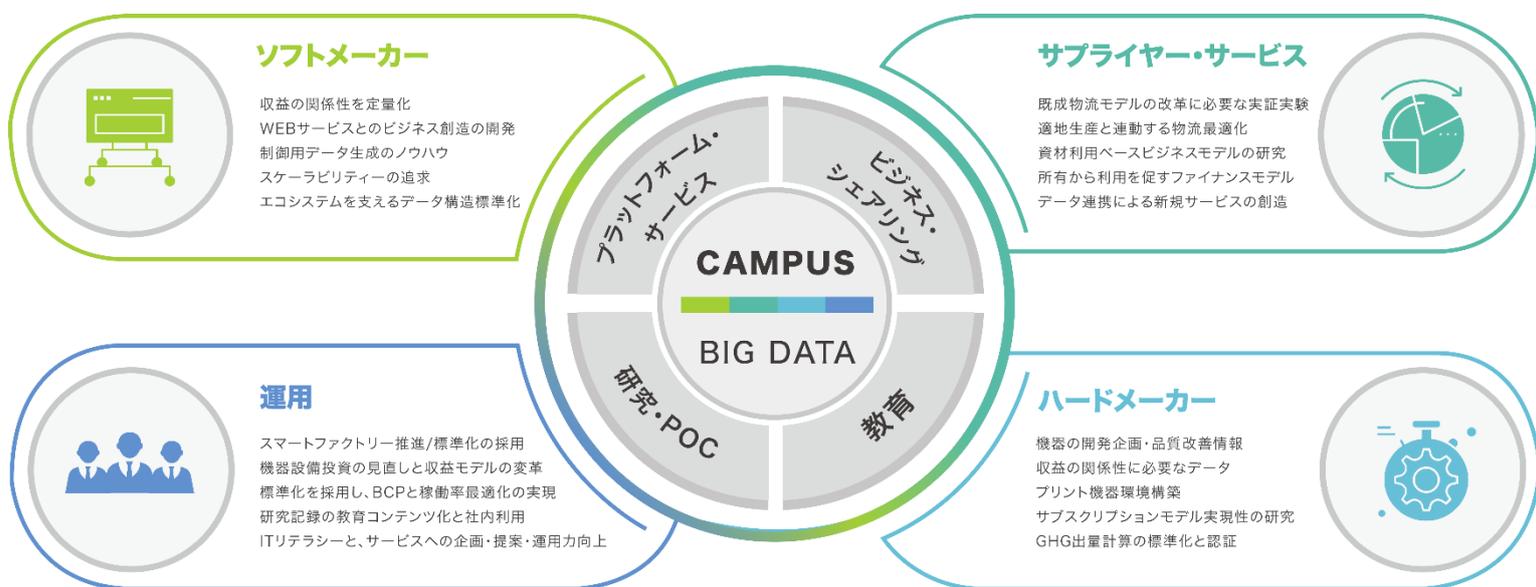
■CAMPUSについて

こうした課題に対し、グーフは独自のソリューションである印刷の最適化プラットフォーム「GEMiNX」*を構築しました。発注主と印刷パートナーとのデータを連携し、印刷量、納期、印刷品質、使用する用紙などの要件や配送先エリアから、最適な印刷パートナーへの発注を自動的に振り分けることで、「適地」「適時」「適量」の印刷運用を実現するサービスの提供に向けて検証を進めています。

印刷業界における既存のサプライチェーンの効率化と品質向上を図りながら、付加価値を生み出すためには、ものづくりから物流にわたる全てのステークホルダーとの相互協力が不可欠で

す。このたび、実際に受注・提供している印刷物を題材に、仮説検証に留まらない新たなモデル構築と挑戦の場として印刷拠点である CAMPUS が立ち上げられました。

2025年2月13日に実施した CAMPUS の開所式には、実証実験に参加しているハードウェアメーカー、ソフトウェアメーカー、印刷会社、資材サプライヤー、研究機関が参加しました。今後、互恵性の高いエコシステムの形成に必要なデータの集積と標準化に向けた仕組みを構築し、必要な人材の教育環境の整備を行います。



CAMPUS での検証内容

■実証実験の目的

三菱HCキャピタルは、2023～2025 年度中期経営計画(2025 中計)の事業戦略の一つに新たなデータ活用プラットフォームサービスの創出を掲げており、今回、グーフの協業パートナーとして CAMPUS に参画します。実証実験では、使用する最先端デジタル印刷機「Canon varioPRINT iX3200」をグーフにファイナンスで提供します。

実証実験では、グーフの「GEMiNX」に集積された受発注からワークフローまでのデータを両社で分析し、次世代インフラを支える設備投資モデルの要点抽出と検証を行います。実証を通じて、印刷物の品質を担保しつつ、ユーザーのニーズに応える経済的な印刷サプライチェーンの構築をめざします。

また、サステナビリティに対する意識が高いユーザーの要望も踏まえ、三菱HCキャピタルの保有する再生可能エネルギー電力やカーボンオフセットなどのソリューション提供の可能性についても検証します。

■今後の展望

両社は、CAMPUS での実証実験を通じて印刷サプライチェーンの最適化に向けたデジタル印刷プラットフォームの構築を進めます。印刷産業に関わるステークホルダーにとって「適地」「適時」「適量」を実現する印刷インフラの提供をめざします。

* グーフHP

<https://www.goof.buzz/solution/geminx>

■三菱HCキャピタルグループについて

三菱HCキャピタルグループは、“未踏の未来へ、ともに挑むイノベーター”を「10年後のありたい姿」に掲げ、その実現に向けて、祖業のリースはもとより、有形無形のアセットの潜在価値を最大限に活用したサービスや事業経営などに取り組んでいます。「カスタマーソリューション」「海外地域」「環境エネルギー」「航空」「ロジスティクス」「不動産」「モビリティ」の7つのセグメントのもと、連結総資産は約11兆円、連結従業員は約8,400人を擁し、世界20カ国以上で事業を展開しています(2024年3月末時点)。

わたしたちは、絶えず変化する社会や事業環境の変化を先取りし、お客さま・パートナーとともに新たな社会価値を創出することで、社会的課題の解決、ひいては持続可能で豊かな未来の実現に貢献していきます。

詳しくは、三菱HCキャピタルのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/>

■グーフについて

グーフは『紙』の新たな価値を創造することをミッションに、デジタルと紙の融合で高付加価値なコミュニケーションの実現を目指しています。適地・適時・適量・適切なプリンティングエコシステムを構築することで、既存の無理・無駄を省き、顧客に対して質の高いコミュニケーションを支え続けています。また、パーソナライズに加え、サステナビリティに配慮した透明性の高いコミュニケーションは、ブランドと顧客の信頼関係を深め、社会の豊かさへの貢献も高まると信じ活動しております。

■本件に関するお問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社
コーポレートコミュニケーション部
〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
TEL 03-6865-3002 (直通)

株式会社グーフ
担当: 白井、保泉
〒141-0032 東京都品川区大崎四丁目1番2号
TEL 03-5759-5179 (代表)

以上